

## ■ はじめに

## ■ 研究テーマ

- ▶ 現在進行中のテーマ
- ▶ 過去の研究成果

## ■ メンバー

## ■ 研究業績リスト

## ■ ラボ写真

## ■ 小型魚類を使った医学・薬学研究

## ■ お問い合わせ

## ■ アクセス

- 国立大学法人群馬大学 [📍](#)
- 群馬大学生体調節研究所 [📍](#)
- 細胞競合 [📍](#)

# 石谷太のプロフィール

昭和50年10月	鳥取県八頭郡智頭町（ちずちょう）に生まれる。さそり座B型…
乳幼児時代	とにかく目新しいものを見つけると自分の鼻の穴に突っ込む。
保育園児時代	保母さんに「早く大きくなりたい？」と可愛く聞かれたのに「寿命が縮むからイヤ」とのたまう。
小学生時代	なぜ自分の名前が太でトオルと読むのか悩む。 書道、剣道、そろばん、水泳、絵画の教室に入る。 自分の骨格がブチ奇形なのに気付き、個体発生に少し興味を持つ。 合体変形ロボットにハマる(蛋白質間相互作用に興味を持つきっかけ?)
昭和63年4月	鳥取大学付属中学に入学 自分が部長の時代に剣道部を廃部に追いやる。
平成3年4月	鳥取県立鳥取西高等学校に入学 剣道は個人競技で寂しかったので、ラグビー部に入る。
平成6年4月	名古屋大学理学部へ入学 体力の限界を早くも感じ、ラグビーをやめる。 その後ちょびっと引きこもって、家で絵を描く生活を送る。 松本邦弘教授の授業をうけ、コレだ!と思う。
平成10年4月	同大学大学院理学研究科生命理学専攻へ入学 松本邦弘研究室にて、シグナル伝達にいるんな意味でハマる。 久本直毅先生に線虫の扱いを習う。 辻順先生に培養細胞の扱いを習う。 Nemo-like kinaseと出会う。ラッキーが重なり、初めての論文を出す。 まさか、これが10年以上にわたるNLKとの付き合いになるうとは、イシタニは知る由もなかった。。。 (笑)
平成14年6月	ラッキーが重なりまくり、博士号(理学)(名古屋大学)取得。 また、このころ基生研上野研究室にてカエルの扱いを習う。
平成14年7月	名古屋大学にいたまま、日本学術振興会特別研究員PD、科学技術振興事業団研究員、名古屋大学COE研究員、再度の日本学術振興会特別研究員PDと、職歴のみ重ねる。 この間、伊藤素行助教授のもとでゼブラ研究の修行を積む。 また、Nemo-like kinaseに関するデータをためる。 自分の仕事に集中したくなり、欲を出して独立を目指す。
平成18年11月	九州大学 生体防御医学研究所に特任准教授として着任。 福岡の食べ物のうまさのため、デブる。 初めての研究室運営に悩み、酒量が増えて、更にデブる。 それでも、自由に思い切り研究ができる環境にかなり張り切る。
平成20年4月	ラボのメンバーが増えてちょっとうれしいなあ。
平成20年12月	SSP懇親会にて、酒の勢いでサイエンスに対する姿勢について、熱く語りすぎ、「迷言」を残す。
平成21年1月	共同研究ながらも、九大での仕事、初めての国際共同研究が論文になる。 このことは、PIとしての業績としてはしょぼいが、わりと石谷を感動させた。
平成21年4月	文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞。 身の丈に合わない賞をいただいてしまった。。。 賞に見合うような人間になるよう努力することを決意。
平成21年10月	生まれて初めての責任著者兼筆頭著者の論文がJNC誌に受理された。 しかも長年興味を持って研究してきたNemo-like kinaseがリチウム(精神疾患治療薬の一つ)の標的となることが分かってきた!!

Journalは今までになくIFが低いが、内容は誇れるものであると思う。  
これからの発展に期待せよ！と、自分を鼓舞！！

- 平成21年12月 自分が責任著者兼筆頭著者の論文が[Nature Cell Biology誌](#)に受理。  
ノートを見直すと、この研究のきっかけとなるアイデアは、平成13-14年に考えたものだった。我ながらよく頑張った。  
また、周りの先生方もいろいろ我慢してくれてたんだな、と泣けてきた。  
……………でも、科研費申請に間に合わず！！  
ショック！そして飲む！そして太る！そしてズボン了新調！  
九州来てからついに10キロ太りました！！中年太りスタートでしょうか？
- 平成22年1月末 はじめての記者会見を行いました。  
Nature Cell Biologyの研究の報告です。  
顔写真を撮っていただきましたが、各社ともに写真は不採用。  
きっと、有害な感じに写っていた(笑・泣) のでしょう。  
実際、素で行ったので、髪が逆立ち、頬も〇ン〇ンマンのようでした。
- 平成22年3月 末当研究室の学生一号、東谷君が修士号を無事に取得し、卒業しました。よかった～  
上司の方は私よりきっとキビシイので、がんばってほしいですね。。
- 平成22年4月 私の所属する次世代スーパースタープログラムも今年度で終わりです。  
一年後の私はどうなっているかは想像もつきませんが、今年もこれまでと変わらず、納得のいくレベルの研究を自分らしく、焦らず、かつ激しく、やっていきます。  
今年の目標は、学生さん、ポスドクがfirst authorの論文を学術誌で発表することです。  
おれも頑張るから、みんな石谷以上に頑張ってくれ！
- 平成22年5月 細胞生物学会で若手優秀発表賞をいただきました。  
初めて細胞生物学会に参加した私にこのような賞を与えて頂き、有難うございます。  
これからも国内外の細胞生物学の発展にできる限り貢献したいと思います。  
「PIなのに学生・ポスドク向けの賞を取りに来るなんて大人げない」と若い子に言われましたが、これからは、「イケそうな時にはガツガツ行くスタイル」でいきたいと思います(笑)。
- 平成22年11月 念願の自身初のラストオーサーの論文が[Molecular Biology of the Cell誌](#)に受理されました。  
大感動です。一つ今年の目標達成です。  
ご助力いただいた、稲葉先生、松本先生、学生の閑さんに感謝です。
- 平成23年4月 みなさまのご助力のおかげで、無事、九大の正式な職員になりました。  
これからは、テニュアトラック期間に頂いてた研究費もない！こっからが勝負。
- 平成24年1月 NLKによるWntシグナル制御の意義と、NLKを介するあたらしいWntシグナル経路の発見を示した論文が[EMBO Journal](#)に受理されました。  
この研究は、私の初めての論文(Nature 1999)の続報となる仕事で、私がPIになってやりたかった仕事の一つです。  
ご助力いただいた、伊藤先生、松本先生、太田君、閑さん、清水君に感謝です。
- 平成24年7月 清水君が中心になって作成したWntシグナルレポーターゼブラフィッシュの論文が[Developmental Biology](#)に受理されました。  
この研究は、九大で指導した学生の論文としては初めてのものです。感動ですね。
- 平成24年10月 清水君の撮影したWntシグナルレポーターゼブラフィッシュのムービーがスタンフォード大のWntホームページにて、世界中のWnt研究者に向けて公開されてました。超びっくりです！著作権的に大丈夫なのか？！とも思いましたが、とにかく研究が評価されたということで良しとしましょう！
- 平成26年7月 新学術領域「細胞競合」計画班に採択されました。  
「学生のころから憧れていた大先生方や近い世代のRising Starと一緒に、新分野にチャレンジ」できる最高のチャンスを頂きました！頑張るぞ！！
- 平成26年8月 2008年ごろから頑張ってきたHipk2によるWntシグナル制御の仕事が[Cell Reports](#)に論文として掲載されました。

今回の論文では、4人のReviewerからの大量の追加実験の要求に答えるため、時間だけでなく、気力体力（および頭髪）を過去最大級に消耗しました。  
結局、Reviewerに対するResponse Letterは、1回目と2回目のReviseで合計37ページと過去最長になってしまいました。  
ホントに掲載してもらえてよかった！

平成28年3月	Keystone Symposia ではじめて口頭発表の機会をえました。 世界のユビキチン研究者が集まる中で話ができて涙が出そうです。
平成28年9月	Wnt meetingではじめて口頭発表させてもらえました。世界のWnt研究者が集まる中で20分も話ができて涙が出ました。涙流しすぎ。 過去最高レベルに練りに練った発表で、サイエンス的にもお笑いのウケをとることができたかと思います。これからも頑張るぞ！
平成28年11月	学部4年生から所属している分子生物学会の大会にて、初めてシンポジウムをオーガナイズしました。テーマは『Wntシグナル：私たちのからだを作る・支えるユティリティプレイヤー』で、大変勉強になりました。また、並行して、Wnt研究会のオーガナイズもさせて頂きました。日本のWnt研究者人口の多さに驚くとともに、その研究レベルの高さに感動しました。この研究会を起点に、日本のWnt関連研究を盛り上げて行きたいと思います。
平成29年4月	群馬大学生体調節研究所（群大生調研）の新設分野教授に着任しました。ご期待を裏切らぬよう、かつ、ご期待以上の研究ができるよう精一杯頑張っていきたいと思えます！
平成29年5月	発生生物学会50周年大会にてシンポジウムをオーガナイズさせていただきました。結構頑張って企画した甲斐があつてか、シンポジウムは立ち見が出るほど盛況でした。シンポジウムを盛り上げてくれたスピーカー、聴衆の皆様に大感謝！
平成29年6月	細胞生物学会大会にて穂枝くんが優秀発表賞に選ばれました。彼自身の頑張りが大きく、supervisorとして大変光栄です！ 研究室の学生さん、ポストクさんにはどんどん発展して行ってほしいです。
平成29年8月	Wnt signalingの初めてのGordon Conferenceにて、speakerに選んでいただきました。ノイズキャンセリングの話をしました。私の研究やキャラクター（？）を海外のWnt研究者にうまくinputできたかな、、、と思います！ あとは論文を通すだけ！

